

人の使用するアクラ語であるが、ガーン(G)と
アダムピ(Adampi)の二方言に別れてゐる(未完)

新著紹介

○日本鳥瞰圖

第四輯 西村健二著 東京尚柳原

東京都成館發行 昭和八年五月 一組三圓五〇錢

日本鳥瞰圖は一昨年來發刊され地理教課用として重寶がられて居たが今其の第四輯の續刊を見るに到つた。收められた圖葉は青森縣鰺ヶ澤の四段の段丘を有つ隆起海岸、關東平野に君臨する紫の筑波山、海波に洗はれる犬吠岬と洋々たる利根川の河口とを含む銚子半島、木曾御嶽火山並に温泉火山を中心にした島原半島の五枚である。鳥瞰圖の特色は山岳の皺を見せるにあるが平坦地を伴ふものでは視角によつて山貌が圖中に著しく現はれなくなる。例へば筑波の如き視角を變へたなら圖に著しい焦點が出来ることとなる。地形によつて鳥瞰の視角を選ぶ必要があると思ふ。それにしてもこの新しき五葉は火山以外の地形が多く既刊のものを補ふと共に日本に於ける地形圖集の完成に近づきつゝあるは喜びに堪へぬ所である。(中村)

○青丘雜記

安倍能成著 岩波書店發行 定價二圓

著者は京城大學教授であるが、朝鮮へ赴任されてからの隨

筆私記を集めたものである、同時に勿論著者は地理學者ではない。しかし本書によつて我々は朝鮮や滿洲や、支那さては耽羅島などの風物について深く廣く教へられる點が多い。蓋し文化の發達といふことを心掛けて篇中至る所にその哲學的思索の結果を洩らされてゐるので普通漫然たる旅行記とちがつて、興行もふかく、開口も廣い、さうして讀後に東洋の人文現象に關しての何物かを暗示させられるといふ喜びがある日本を愛し朝鮮や滿洲の文化をしらんとする人士には是非とも一讀せられんことをすすめる。(藤川)

○アラスカ日記

矢部茂著 古今書院發行
定價一圓八十錢

著者矢部氏は北滿金鐵開發の技術的研究のため滿鐵の社命をうけ、昨年七月から十二月へかけて、アラスカに旅行したさうして本日記は七月三十日のシャトル出發からはじめて、八月十四日ノームについた飛行機旅行や滞在の間に見た紀行である。正直に云つて筆者は近頃これ程面白い有益な紀行文に接したことがないので一讀巻を描くことが出来ず、何回もくりかへした、挿繪も豊富であり、文章も亦極めて明快である。ノームの町に居るハレー齊藤といふ日本人の洋食店があるらしいが、其の店の主人齊藤といふ人の痛快な活動を教えられて極北の曠野に働ける同胞の氣慨に感心させられたのみでなく、本書は各地で著者の經驗した異域の人の同情は、之を聞くだけでも心地がよい。筆者は全く本書に魅せられて

しまったことを告白して、之を江湖に推奨するものである。

(藤川)

○大塚地理學會論文集

第一輯 古今書院

定價三圓八十錢

菊版六百七頁、儼然たる大冊、田中啓爾先生の監修の下に東京文理科大学の教授や卒業生の努力で、新しい學界の進運をしめすべく凡そ三十五の長篇短篇が蒐録されてゐる、各篇とリどりに面白い。予は百花らんまんたる姿を嘆稱し、敢て大塚地理學會の力強い歩みを敬視する。(藤川)

○地球儀の用法

秋岡武次郎著 小光社發行

定價八十錢

四六版七〇頁の小冊子、挿畫十版、中に我國で出來た珍重すべく多くの地球儀が美はしく記されてゐる。地球儀の用ひ方を極めて簡明に記されてゐることが、實際の教授者に對し大に利用されるであらうことを信じ、この書の著者に感謝の意を表する。(藤川)

雜報

○米國の石油産額

一九三一年の産額八億四千六百萬バレル、一九三二年七億八千五百萬バレルの石油産出は一九三三年には七億二千二百萬バレルで減少の見込である、その

見積左の如し。(單位千バレル)

州 名 新 産 地

舊 産 地

アーカンサス

一〇、四六〇

一二三、三五〇

カリホルニア

三三、三五〇

一、〇五〇

コロラド

五、五〇〇

二四、〇〇〇

カンサス

一、一五〇

六、〇〇〇

ルキジアナ

二、〇〇〇

一、九三〇

ミシガン

一八五、七二〇

一一、八〇〇

モンタナ

四四〇、〇一五

四、四一五

ニューメキシコ

九〇、一六〇

一、一五〇

オクラホマ

一、一五〇

一、一五〇

テキサス

一、一五〇

一、一五〇

ワイオミング

一、一五〇

一、一五〇

東部諸州

二八二、〇七〇

四四〇、〇一五

合 計

二八二、〇七〇

四四〇、〇一五

右のうち舊産地とあるのは從來一定量のある油田のことであつて、新産地といふのは見込だけであるから、これ以上にあるか、減ずるかは不明である、今見込のある新しい油田をあげれば(單位千バレル)

一九三二

一九三三見込

Elwood

五、四四一

四、四五〇

Kettleman Hills

二一、九四九

二五、〇〇〇

Plaga del Rey

五、九一一

三、九〇〇